

令和7年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

日 時 令和7年6月30日（月）

13時30分～15時00分

場 所 稲毛保健福祉センター3階 大会議室

出席者 委 員 20名（欠席5名）

代理人 1名

事務局 7名

傍聴人 0名

【1】次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

（1）稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長（1名）の選出について

（2）令和6年度稲毛区推進計画の推進状況について

（3）稲毛区支え合いのまち推進協だより No. 32について

4 その他

5 閉会

【2】開 会

- ・委員定数25名のうち5名の欠席を確認して開会した。
- ・開会にあたり、稲毛区長より挨拶が述べられ、新任委員の紹介が行われた。
- ・事務局より会議の公開について説明がなされた。

【3】議事要旨

<議題（1）稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長（1名）の選出について>

岡山前副委員長の退任に伴い、出席委員の互選による副委員長の選任が行われた。

眞知委員長が副委員長の選出を諮ったところ、工藤委員より委員長一任の発言があったことから、委員長が岡山前委員長も所属する社会福祉協議会301（作草部・天台）地区部会の金野委員に副委員長を打診、同委員の受諾、出席委員の承認を受け、金野委員が副委員長に選任された。

<議題（2）令和6年度稲毛区推進計画の推進状況について>

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所平木主任主事より、各地区部会へのヒアリングに基づく令和6年度推進計画の取組み状況について、項目別に作成された資料を使って説明が行われた。

(眞智委員長)

説明にありました中高大学専門学校等への地域イベントへの協力依頼とボランティア育成の講座開催についてですが、これまでこういった学校等へお願いをしていたのでしょうか。

(平木主任主事)

個別に地域イベントの依頼をしていました。具体的には、施設の夏祭り、稲毛いきいきプラザでのイベントに関し、区内3大学、1専門学校へ各イベントのブースのお手伝いを依頼しています。

(眞智委員長)

中高に関してはどうでしょうか。

(平木主任主事)

中学生には講座への参加呼びかけ、高校生にはイベントでの催し参加、例えば、吹奏楽部の敬老会での演奏、といった声掛けをしております。

(眞智委員長)

ありがとうございました。

内容について全会一致で承認された。

<議題(3) 稲毛区支え合いのまち推進協だより No. 32について>

事務局より、推進協だより No. 32 について説明が行われた。

昨年度は、日程の関係で事務局作成となったが、今回は3月より広報委員2名(稲毛・こどものWAネットワーク 菊地委員、認定NPO法人コミュニティケア街ねっと 飯島委員)を中心に内容について協議し、最終的に区内の広範な活動という観点から地区部会以外の組織活動に焦点を当ててみることに、眞智委員長へのインタビューを載せるということになった。

また、紙面作成には、工藤委員(あんしんケアセンター園生)にも協力をお願いした。

(菊地委員)

当協議会では、地域が主体となった地域福祉の推進について一生懸命考えているところですが、先々いろいろなことがわかるような紙面にしたいという思いで眞智委員長にもご相談をして今回の内容となりました。今回の内容以外にも沢山の取組があると思いますので、今後、掲載について検討していきたいと思います。

(飯島委員)

担い手不足や地域づくりは一人ひとりの関わりが大事という観点から、地域のボランティアとして最近多くの30代40代の方々が自主的に関わってくださっている私共の団体を事例としてご紹介させていただきました。地区部会さんでの取組事例につきましても協議をしましたが、紙面での発表は時期尚早ということで僭越ながら私共の地域づくりの活動について簡単に紹介させていただくこととなりました。

また、前回の協議会で生活支援コーディネーターについて工藤委員が説明してくださったので、皆さんにとって非常に身近な話題ということで裏面に紹介させていただく企画をさせていただきました。

(工藤委員)

生活支援コーディネーターには、社協の第1層とあんしんケアセンターの第2層があり、今回ご紹介できたことについてありがたいことと思っています。

私共の活動は地域の方抜きには成り立ちませんので、紙面を通じて多くの方々とつながりができることを期待しております。

(眞智委員長)

他に質問等なければ、内容について承認を諮りたい。

全会一致により承認された。

【4】その他

・松川委員より「災害への備えハンドブック2024」の内容について説明があった。

一人暮らしのできる知的障害のある方を対象に作成されているが、「高齢者等」と記載されているように高齢者の方にも利用できる内容となっている。

障害者向けに工夫されている点としては、3ページ目の「本人用避難ベスト」、沢山ポケットの中に好きな食べ物やお薬手帳等、本人にとって必要な物を入れられようになっていること、14ページに避難所生活は難しい方のために「車中泊避難」について記載をしていること、5ページに自分たちの身は自分で守ることが基本のため、マイタイムライン等で日頃から取り組むこと、2ページに避難所で支援物資を受け取るためには「避難者カード」を提出して名札をもらう大切さを記載している。

説明に対して、避難用ベストについて他の人からみても目立つような工夫の提案や、多くの方に知ってもらうために「千葉市手をつなぐ育成会」ホームページへの記載だけではなく、防災対策課のホームページにもリンクを貼ってもらう手法が提案された。

(※千葉市ホームページ内千葉市障害者自立支援課に当ハンドブックの掲載あり)

また、関谷委員より、当ハンドブックの避難者カードと避難所運営委員会の連携について質問があった。

質問に対し、神田委員より、避難所運営委員会の実情とカードも避難所毎に異なること、避難所では落ち着いてからカード作成依頼となっていることが伝えられたうえで、当ハンドブックに記載のあるカードについて近々開催の防災委員会で紹介する提案がなされた。

眞智委員長より、福祉避難所との関係と災害時の状況、支援する行政職員も専門家ではないこと等を鑑みると、出来るだけ事前に準備する必要性はあるとの意見が述べられた。

改めて関谷委員より、健常者以外の方が事前に準備する有用性について意見が出された。

・事務局より前回松川委員より質問の出た「千葉市個別避難計画」についての説明があった。

千葉市個別避難計画の現状と防災対策課より計画について疑問に思うことがあったら当課へ相談してほしいとの言葉を伝えた。

・事務局より「2025年度夏期巡回 ラジオ体操・みんなの体操会 千葉開府900年記念」について説明があった。

【5】閉 会

事務局より以下について周知がなされた。

- ・承認いただいた推進協だよりは、10月1日付けで5,250部発行、各町内自治会、公民館等に配布する予定である。
- ・次回推進協開催は来年2月末を予定しており、1月には各委員あてに通知する予定である。